

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [ 事後評価 ]

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	06	01	03	0405	農地有効活用事業

事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返	<input type="checkbox"/> 期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	-------------------------------	-----------------

《事業目的》  
農地の有効利用

《事業開始の背景》  
担い手農業者の確保育成と農業経営安定のため、担い手に農地を集積させる必要があり、花巻農業振興公社が行う農地利用調整事務の費用を負担する。農地の有効活用のため、耕作放棄地の解消を目的とした事業を実施する。

《事業概要》  
・花巻農業振興公社が行う農地利用調整事業に係る費用を負担  
・耕作放棄地を解消した農業者・組織に補助金を交付

市民参画の有無 [ 対象外 ]

《事業展開の留意事項》

《成果指標》

項目	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
① 担い手への農地集積率	%	目標	59.0	60.0	
		実績	57.9	59.2	
② 耕作放棄地(要解消地)の面積	㎡	目標	80,000	75,000	
		実績	102,002	51,802	
③		目標			
		実績			

分野	担当部(機関)	担当課(機関)	担当係長	(内線)
しごと	農林部	地域農業推進室	園田麻理	6-410

	25年度	当初(現計)	補正	25年度	26年度
事業費	19,102				
財源内訳	国県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	19,102			

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること

① 花巻農業振興公社負担金 18,353千円

花巻市の農地調整の仕組み【担い手への農地集積の推進】

農地利用集積円滑化事業  
農業基盤強化促進法に基づく(円滑化団体＝農業振興公社)

- ・農地所有者代理事業
- ・農地売買等事業
- ・研修等事業

⇔

農家の要望

- ・農地を貸したい
- ・農地を借りたい

花巻農業振興公社収支 (千円)

区分	内容	支出 A	自己資金等 B	会費賦課額 A-B	負担金			増減
					市	農協	改良区	
総務管理	本店の総務経費	13,497	38	13,459	5,937	5,937	100	△ 1,485
利用調整	農地賃貸借の仲介業務経費	121,502	121,502	0	0	0	0	0
営農支援	作業受委託の仲介業務経費	637	520	117	860	600	0	1,343
指導研究	葡萄が丘研究所運営経費	12,424	7,880	4,544	11,556	0	0	7,012
宇瀬水牧野	宇瀬水牧野管理経費	16,518	16,378	△ 140	0	0	0	△ 140
合計		164,578	146,318	18,260	18,353	6,537	100	6,630

② 花巻市耕作放棄地解消支援事業 749千円  
15千円/10a × 99.8a × 5年

耕作放棄地の解消

- ・耕作放棄地の実態把握(農業委員会等)
- ・耕作放棄地の情報発信

➔

支援事業  
10aあたり15千円(障害物の除去等)

農業者による農地活用

- ・農地活用による耕作放棄地の解消
- ・担い手への農地集積

農地有効活用事業(総括表)

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [ 事後評価 ]

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	06	01	03	0405	農地有効活用事業

総合計画	政策	地域資源の連携強化で産業振興のまちづくり	施策	2次・3次産業との融合による強い1次産業の育成
	1		1-1	
目的	農地の有効利用			
対象	農業者、農用地、耕作放棄地			
意図	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担い手農業者・組織等への農地利用調整の推進</li> <li>・耕作放棄地の解消</li> </ul>			

《事業概要》…上記目的を実現するための事業手法を記載すること

- ・花巻農業振興公社が行う農地利用調整事業に係る費用を負担
- ・耕作放棄地を解消した農業者・組織に補助金を交付

市民参画の有無 [ 対象外 ]

市民協働の形態	<input type="checkbox"/> 共催	<input type="checkbox"/> 実行委員会・協議会	<input type="checkbox"/> 事業協力・協定
	<input type="checkbox"/> 後援・協賛	<input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成	<input type="checkbox"/> 委託

活動指標（上記「事業概要」に対応）	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
① 農用地利用調整件数	件	計画	1,450	1,450	
		実績	1,756	2,343	
② 耕作放棄地解消支援事業により解消された耕作放棄地の面積	㎡	計画	10,000	10,000	
		実績	6,689	9,984	
③		計画			
		実績			
成果指標（上記「意図」に対応）	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
① 担い手への農地集積率	%	目標	59.0	60.0	
		実績	57.9	59.2	
② 耕作放棄地（要解消地）の面積	㎡	目標	80,000	75,000	
		実績	102,002	51,802	
③		目標			
		実績			

要因分析

達成度  目標値より高い  概ね目標値どおり  目標値より低い

関係機関連携のもと、耕作放棄地の実態把握に努めるとともに、耕作放棄地の再生利用の情報提供を行い、耕作放棄地の解消を図った。（担い手経営面積7,620ha/農地（水田）12,869ha=59.2%）

- ・平成25年12月末（農地パトロールにおける耕作放棄地（要解消地）面積51,802㎡）

《環境変化、意見・要望》…環境変化はないか？ 意見や要望が寄せられていないか？

規模拡大交付金の活用による農地集積が進んできた。

目的妥当性	<p>公共関与の妥当性</p> <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農地集積による経営基盤の確立を図るために、農用地利用改善団体が行う円滑化事業を支援する必要がある。</li> <li>・耕作放棄地の解消に向け、調査により実態把握を行い、農業者等に情報を提供し、早期解消に向けての起爆剤として市が支援することは必要である。</li> </ul>
有効性	<p>成果の向上余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農地利用集積円滑化事業（農業振興公社事業）によるメリットをさらに農家にPRすることで、利用調整が増加することが期待される。</li> <li>・耕作放棄地調査により把握された情報を整理し、必要な情報を的確に発信する必要がある。</li> </ul>
効率性	<p>事業費・人件費の削減余地</p> <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> どちらも削減余地がない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農用地利用調整事業は今後事業量の増加が見込まれる。</li> <li>・本事業は公社事業として行っており、負担金は公社人件費相当額を市と農協が負担している。</li> </ul>
公平性	<p>受益と負担の適正化余地</p> <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適正である	<ul style="list-style-type: none"> <li>・費用負担は耕作放棄地を農地に戻す最低限必要な経費である。また、利用調整事業にかかる経費は農家からの事務手数料を徴収しており、今後さらに事務の増加が見込まれること等を勘案し適正である。</li> </ul>

《総合評価》…上記評価結果の総括

花巻農業振興公社が行う農地利用調整及び、市単独事業として行ってきた耕作放棄地の解消支援により、担い手への農地の集積や耕作放棄地解消による農地の有効活用が図られてきた。しかしながら、従来の国庫事業（耕作放棄地再生利用緊急対策）の内容が平成26年度より充実されるため、市単独事業（花巻市耕作放棄地解消支援事業）については、廃止することとした。